

社長通信

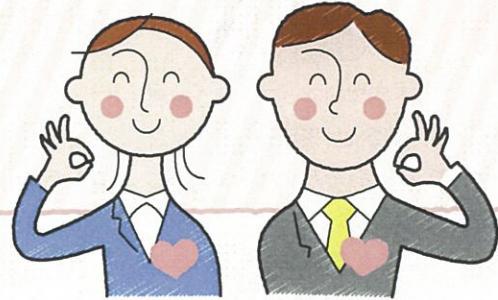
株式会社 福島人材派遣センター
代表取締役社長 安田 敬

2015年11月号

Vol.3



先日、高校時代の仲間と山登りをしてまいりました。山岳部時代をなつかしく感じてきました。来年はトレーニングをつんで、仕事同様さらなる目標を持ちたいと思います。



「労働者派遣法の改正を迎えて」

去る、9月30日付で改正労働者派遣法が施行されました。

前回の社長通信では、予定として掲載させていただきましたが、正式に施行となり、今後は新法の規定に従い業務をおこなうこととなりました。

マスコミの報道やSNSなど、今回の改正は以前に比べ報道の過熱を感じています。

「法改正」だけではなく、「正規、非正規」を題材にした報道も良く見かけます。

皆様にはどのように映っていますでしょうか。

労働経済学なる立場からも、様々な意見、提言が出ています。

少子高齢化の社会で、様々な働き方が見直されているのも現実かと思えます。

私たちはこれからの人生設計を、長いキャリアプランに基づいておこなっていく必要があります。キャリアプランの作り方は人それぞれですが、家族やご友人、そして信頼できる第三者に助言・指導をいただくことがとても大切ではないかと思えます。

今回の、改正派遣法には信頼できる第三者として、派遣元企業の存在を示しています。

皆様のキャリアアップの機会を提案し、キャリアプラン作りに貢献していく。今後の会社の事業方針として捕らえて参ります。

今後とも、良きパートナーとして弊社をご支持いただけますようお願い申し上げます。



改正労働者派遣法のポイント

大きく4点が追加されています。改正以外は、以前の法律内容となります。弊社としては、地元労働局の指導のもと、随時制度を導入して参ります。

今後、社長通信などを通じて、皆様にお伝えして参ります。

① 働く期間を職種に関係なく原則3年間とする。

旧26業種については、契約期間終了後から新業務とする
事業所単位、同一事業所で同一課の場合適用
無期雇用者には適用しない

② キャリア形成支援制度を設置する。

キャリア形成を年頭に置いた教育訓練の実施
キャリア・コンサルティングの相談窓口の設置

③ 雇用安定措置を導入する。

継続勤務一年以上の方へ雇用の安定措置を設ける

④ 労働者派遣事業を全て許可制に。

届出制の特定派遣事業所を3年後に廃止



今月の事業取り組みについて

取り組み その1



10月22日、下期業績アップ会議を幹部社員6名と弊社顧問会計事務所のご担当者様の計7名で、お取引先のエクシブ那須白河会議室にておこなって参りました。早朝から夕方まで真剣な会議をさせていただ

き、期末3月を目指し新たな目標設定(よつばのクローバーと命名)を致しました。



何分皆様には、ご支援ご指導いただけますようお願い申し上げます。特に、新規、既存の派遣先事業所の開拓、増員がメインとなっております。

弊社担当者から皆様へ、ご連絡、ご依頼

があるかもしれません。どうかご協力いただけますよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。



取り組み その2

前回ご紹介いたしました、「平成27年度郡山市女性活躍推進事業」へは沢山の皆様に参加、お申し込みをいただき有難うございました。第一回の開催は無事終了しました。12月以降の事業について改めてご紹介させていただきます。



女性活躍推進セミナー

・参加費無料 ・セミナー各回定員50名 ・無料託児所あり
・無料駐車場あり 《会場》郡山市男女共同参画センター さんかくプラザ

[キャリアアップセミナー]

女性管理職とは? ~楽しく働きたいあなたへ~

●対象:女性管理職、または全ての働く女性

12月12日(土) 10:00~12:00

1月16日(土) 10:00~12:00



株式会社エフコム
ソリューションサービス本部
統括部長 **二瓶 幸恵**

[ワーク・ライフ・バランスセミナー]

それぞれのバランス ~イキイキと働くために~

●対象:仕事と家庭の両立でお悩みの女性、両立の実現を目指す女性

12月12日(土) 10:00~12:00

1月16日(土) 10:00~12:00



株式会社福島人材派遣センター
郡山支社長 **北浦 典子**

募集について >> 随時ご案内いたします。詳しくは郡山支社までお問い合わせください。☎024-925-3711

今、注目されている話題をご紹介します **人財ビジネス日記**

>> 「子供たちの、働き方の、未来」について

私的になりますが、先日ある学校関係の全国総会に参加する機会があり、上記の題にて講演がありました。

実は、こちらは副題で、本題は「2020年の大学入試制度の改革」でした。

皆様にお伝えしたかったのは、日本が国家プロジェクトとして、これから仕事につく子供たちの仕事が大きく変わる前提で、教育改革に着手しはじめたことです。

「現在の職業の多くは、今後なくなっていくという予測」

・実に子供たちの65%は、大学卒業後、今は存在しない職業に就く

(キャシー・デビットソン氏: ニューヨーク市立大学大学院センター教授)

・今後10~20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い

皆様ご存知のように、人工知能の発達で、幾つか消える仕事は予想されています。

日本として、経済を維持、発展させるためには、今までにない事業を創意工夫し産業を創らなければならない。そのためには、知識偏重の今の教育システムを改め創造性やコミュニケーションの取れる人材育成が急務と国が舵取りをはじめていることです。2020年の大学入試には今の中学一年生から対象となりますが、今後大きな話題になると思います。

現在の私たちの生活も10年前に比べて

も、変化が著しく感じます。今後は加速度的に世の中のシステムは変わっていくでしょう。ひょっとすると今の我々大人も同様かもしれません。

これからの未来が、子供たちにとっても我々大人にとっても、明るい希望のもてるものであって欲しいと願わずにはいられません。人財ビジネスも今後日々進化して、皆様の生活に密着できるよう努力しなければいけません。

幸い「人事マネージャー」たる仕事は、いつまでも残るようです。

この機会に皆様も、これからの未来を考えてみては如何でしょうか。

